

## 第884回宮城県教育委員会定例会日程

日 時：平成28年9月12日（月）午後1時30分から

場 所：県行政庁舎16階 教育委員会会議室

1 出席点呼

2 開会宣言

3 第883回教育委員会会議録の承認について

4 第884回教育委員会会議録署名委員の指名

5 教育長報告

(1) 県立特別支援学校における事故に係る和解について

(特別支援教育室)

(2) 職員の交通事故に係る和解について

(文化財保護課)

6 専決処分報告

(1) 第357回宮城県議会議案に対する意見について

(総務課)

7 議 事

第1号議案 教育功績者表彰について

(総務課)

第2号議案 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正について

(総務課)

第3号議案 職員の人事について

(教職員課)

第4号議案 自然の家条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則について

(生涯学習課)

第5号議案 自然の家管理規則の一部改正について

(生涯学習課)

8 課長報告等

(1) 第4回宮城県教育振興審議会の開催概要について

(教育企画室)

(2) 平成29年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者選考について

(教職員課)

9 資料（配付のみ）

(1) 教育庁関連情報一覧

(総務課)

(2) 平成29年度宮城県立中学校入学者選抜募集要項等について

(高校教育課)

(3) 第43回東北総合体育大会の結果について

(スポーツ健康課)

(4) 平成28年度学校の校庭等における空間放射線量率測定結果について

(スポーツ健康課)

(5) 東北歴史博物館特別展「日本人とクジラ」

(文化財保護課)

10 次回教育委員会の開催日程について

11 閉会宣言

### 第357回宮城県議会議案に対する意見について

平成28年9月宮城県議会に提案される下記の予算議案及び予算外議案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により知事から意見を求められたので、教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和31年宮城県教育委員会規則第12号）第3条第1項の規定により平成28年9月1日専決処分し、異議のない旨回答した。よって同条第2項の規定により報告する。

#### 記

##### 予算議案

- ・平成28年度宮城県一般会計補正予算

##### 予算外議案

- ・工事請負契約の締結について（宮城県水産高等学校校舎等改築工事）
- ・工事請負契約の締結について（宮城県気仙沼向洋高等学校校舎等災害復旧工事（その1））
- ・工事請負契約の締結について（宮城県気仙沼向洋高等学校校舎等災害復旧工事（その2））
- ・工事請負契約の締結について（宮城県気仙沼向洋高等学校校舎等災害復旧工事（その3））
- ・工事請負契約の締結について（宮城県農業高等学校校舎等災害復旧工事（その4））
- ・工事請負契約の締結について（宮城県農業高等学校校舎等災害復旧工事（その5））

平成28年9月12日提出

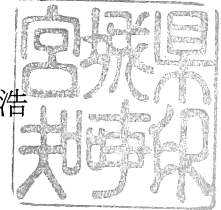
宮城県教育委員会教育長 高 橋 仁



財 第 9 1 号  
平成 2 8 年 8 月 3 0 日

宮城県教育委員会教育長 殿

宮城県知事 村 井 嘉 浩



第 3 5 7 回 宮 城 県 議 会 議 案 に つ い て ( 照 会 )

このことについて、下記議案を提出したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 9 条の規定により、貴委員会の意見を求めます。

記

1 予算議案

平成 2 8 年度 宮 城 県 一 般 会 計 補 正 予 算

2 予算外議案

- (1) 工事請負契約の締結について（宮城県水産高等学校校舎等改築工事）
- (2) 工事請負契約の締結について（宮城県気仙沼向洋高等学校校舎等災害復旧工事（その 1））
- (3) 工事請負契約の締結について（宮城県気仙沼向洋高等学校校舎等災害復旧工事（その 2））
- (4) 工事請負契約の締結について（宮城県気仙沼向洋高等学校校舎等災害復旧工事（その 3））
- (5) 工事請負契約の締結について（宮城県農業高等学校校舎等災害復旧工事（その 4））
- (6) 工事請負契約の締結について（宮城県農業高等学校校舎等災害復旧工事（その 5））



# 第357回宮城県議会（定例会）提出予算議案の概要

～平成28年度9月補正予算の概要（教育庁関係分）～

## 1 補正予算の概要

単位：千円

平成27年度	平成28年度			比較	
9月現計予算額[A]	現計予算額[B]	9月補正額[C]	計[B+C]=[D]	[D-A]	[D/A]
212,579,792	215,233,021	<b>72,120</b>	215,305,141	2,725,349	101.3%

## 2 事業の概要

単位：千円

区分	事業概要等	補正額	財源
文部科学省 委託事業	中学校夜間学級設置促進事業 中学校夜間学級の設置促進に資する研究や調査等に要する経費の補正	620	国庫 620
	スーパーグローバルハイスクール事業 将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成に要する経費の補正 【対象校】気仙沼高等学校	9,000	国庫 9,000
	高等学校情報教育推進事業 情報通信技術を活用した教育振興事業に要する経費の補正 【対象校】多賀城高等学校	2,500	国庫 2,500
	小計	12,120	
その他	校舎改築事業費 経年により老朽化し、構造耐力が低下している既存校舎の改築に要する経費の補正 【対象校】石巻好文館高等学校	41,000	県債 41,000
	遺跡緊急調査費 栗原市「入の沢遺跡」の遺構保護に要する経費の補正	19,000	国庫 9,500 一財 9,500
	小計	60,000	

【参考】

単位：千円

財源内訳	国庫支出金	県債	一般財源	合計
	21,620	41,000	9,500	72,120

## 3 債務負担行為（新規）

単位：千円

事業概要等	期間	限度額
石巻好文館高等学校校舎基本・実施設計 石巻好文館高等学校の校舎改築設計に係るもの	H28.10～ H31.3	62,000
美術館企画展展示関連業務委託 ルノワール展の開催に伴う展示装飾等業務に係るもの	H28.10～ H30.3	3,000

### 第357回宮城県議会（定例会）提出予算外議案の概要（教育庁関係分）

議第 239 号議案      工事請負契約の締結について（宮城県水産高等学校校舎等改築工事）

請 負 金 額 1,637,280,000 円  
契約の相手方 若生工業株式会社  
所管 施設整備課

- 施工地名 石巻市宇田川町地内
- 工事内容 校舎棟 RC造3階建  
延床面積4,907 m<sup>2</sup>  
格技場棟 S造平家  
延床面積265 m<sup>2</sup> 外
- 工 期 議決の日の翌日～平成30年1月31日

議第 240 号議案      工事請負契約の締結について（宮城県気仙沼向洋高等学校校舎等災害復旧工事（その1））

請 負 金 額 1,566,000,000 円  
契約の相手方 江村・加賀田組復旧・復興建設工事共同企業体  
所管 施設整備課

- 施工地名 気仙沼市長磯牧通地内
- 工事内容 校舎棟 RC（一部S）造4階建  
延床面積6,113 m<sup>2</sup>
- 工 期 議決の日の翌日～平成30年1月19日

議第 241 号議案

工事請負契約の締結について（宮城県気仙沼向洋高等学校校舎等災害復旧工事（その2））

請 負 金 額 1,083,240,000 円  
契約の相手方 株式会社小野良組  
所管 施設整備課

- 施工地名 気仙沼市長磯牧通地内
- 工事内容 実習棟 S造2階建  
延床面積3,966 m<sup>2</sup> 外
- 工 期 議決の日の翌日～平成30年1月19日

議第 242 号議案

工事請負契約の締結について（宮城県気仙沼向洋高等学校校舎等災害復旧工事（その3））

請 負 金 額 982,800,000 円  
契約の相手方 石堂建設株式会社  
所管 施設整備課

- 施工地名 気仙沼市長磯牧通地内
- 工事内容 生徒会館棟 S造2階建  
延床面積1,379 m<sup>2</sup>  
屋内運動場 SRC（一部S）造平家  
延床面積1,336 m<sup>2</sup>
- 工 期 議決の日の翌日～平成30年1月19日

議第 243 号議案

工事請負契約の締結について（宮城県農業高等学校校舎  
等災害復旧工事（その４））

請 負 金 額 1,414,800,000 円  
契約の相手方 仙建工業・奥田建設復旧・復興建設工事共  
同企業体  
所管 施設整備課

- 施工地名 名取市高館吉田地内
- 工事内容 農業機械科実習棟 S造2階建  
延床面積 973 m<sup>2</sup>  
食品化学科実習棟 S造2階建  
延床面積 1,146 m<sup>2</sup> 外
- 工 期 議決の日の翌日～平成30年1月12日

議第 244 号議案

工事請負契約の締結について（宮城県農業高等学校校舎  
等災害復旧工事（その５））

請 負 金 額 476,388,000 円  
契約の相手方 阿部建設株式会社  
所管 施設整備課

- 施工地名 名取市高館吉田地内
- 工事内容 草花管理棟 S造2階建  
延床面積 229 m<sup>2</sup>  
温室 S造平家  
延床面積 1,328 m<sup>2</sup>（6棟） 外
- 工 期 議決の日の翌日～平成30年1月12日

第 2 号議案

宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正について

宮城県教育委員会行政組織規則（昭和 4 1 年宮城県教育委員会規則第 4 号）の一部を別紙のとおり改正する。

平成 2 8 年 9 月 1 2 日提出

宮城県教育委員会教育長 高 橋 仁



宮城県教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則  
宮城県教育委員会行政組織規則（昭和四十一年宮城県教育委員会規則第四号）の一部を次のように改正する。

第二十条第二項の表宮城県仙台教育事務所の項中「岩沼市」の下に「、富谷市」を加える。

第二十六条の表中

宮城県鹿島台商業高等学校
--------------

大崎市

を

宮城県鹿島台商業高等学校	大崎市
宮城県富谷高等学校	富谷市

に改

め、同表中宮城県富谷高等学校の項を削る。

第二十七条第二項の表宮城県立利府支援学校富谷校の項中「黒川郡富谷町」を「富谷市」に改める。

附 則

この規則は、平成二十八年十月十日から施行する。

宮城県教育委員会行政組織規則（昭和四十一年宮城県教育委員会規則第四号）新旧対照表

改正後		現行		備考
<p>第一条〜第十九条 （略）</p> <p>（教育事務所）</p> <p>第二十条 （略）</p> <p>2 教育事務所の名称、位置及び所感区域は次のとおりとする。</p>				
<p>3〜4 （略）</p> <p>第二十一条〜第二十五条 （略）</p> <p>（設置）</p> <p>第二十六条 県立学校条例（昭和三十九年宮城県条例第十六号）により設置された高等学校、中学校及び特別支援学校の名称及び位置は、次のとおりである。</p>				
名称	位置	名称	位置	
宮城県仙台教育事務所	仙台市	宮城県仙台教育事務所	仙台市	
			（略）	
		塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、亶理郡、宮城郡、黒川郡	塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、亶理郡、宮城郡、黒川郡	
			（略）	
			所管区域	
			所管区域	
				○富谷町の市制施行に伴う整理

(略)	第二十七条 (略)		第二十七条 (略)		第二十七条 (略)		第二十七条 (略)	
	2 分校の名称及び位置は、次のとおりとする。		2 分校の名称及び位置は、次のとおりとする。		2 分校の名称及び位置は、次のとおりとする。		2 分校の名称及び位置は、次のとおりとする。	
宮城県立利府支援学校 富谷校	(略)	名称	宮城県黒川高等学校	宮城県黒川高等学校	宮城県蔵王高等学校	宮城県蔵王高等学校	宮城県鹿島台商業高等学校	(略)
富谷市		位置	加美郡加美町	黒川郡大和町	刈田郡蔵王町	富谷市	大崎市	

(略)	第二十七条 (略)		第二十七条 (略)		第二十七条 (略)		第二十七条 (略)	
	2 分校の名称及び位置は、次のとおりとする。		2 分校の名称及び位置は、次のとおりとする。		2 分校の名称及び位置は、次のとおりとする。		2 分校の名称及び位置は、次のとおりとする。	
宮城県立利府支援学校 富谷校	(略)	名称	宮城県黒川高等学校	宮城県黒川高等学校	宮城県蔵王高等学校	宮城県蔵王高等学校	宮城県鹿島台商業高等学校	(略)
黒川郡富谷町		位置	加美郡加美町	黒川郡富谷町	黒川郡大和町	刈田郡蔵王町	大崎市	

## 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正の概要

### 1 改正の内容

#### 黒川郡富谷町が富谷市となることに伴う改正

黒川郡富谷町が富谷市となることに伴い、「宮城県仙台教育事務所」の所管区域に「富谷市」を追加し、また、「宮城県富谷高等学校」及び「宮城県立利府支援学校富谷校」の位置の表記を「黒川郡富谷町」から「富谷市」とするなど所要の改正を行うもの。

【改正：第20条，第26条，第27条関係】

### 2 施行期日

平成28年10月10日

第4号議案

自然の家条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則について

自然の家条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則を別紙のとおり定める。

平成28年9月12日提出

宮城県教育委員会教育長 高橋 仁

自然の家条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則  
自然の家条例の一部を改正する条例（平成二十八年宮城県条例第四十四号）附則第一項ただし書に  
規定する規定の施行期日は、平成二十八年十月一日とする。

# 自然の家条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則の概要

## 1 制定理由

松島自然の家野外活動フィールドの供用開始に係る許可申請その他の準備行為を行うことについて、自然の家条例の一部を改正する条例（平成28年宮城県条例第44号）附則第1項ただし書きの規定により、その施行期日を定める必要があるため。

## 2 制定内容

松島自然の家野外活動フィールドの供用開始のための準備行為に係る施行期日を平成28年10月1日とするもの。

### ※ 参考

<p>2 改正後の自然の家条例第四条の二の規定による許可申請その他の準備行為は、この条例の施行の日前においても行うことができる。</p>	<p>1 この条例は、公布の日から起算して一年を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から起算して六月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。</p> <p>（準備行為）</p>	<p>別表第二号備考第一号に次のように加える。</p> <p>6 コテージ（宮城県松島自然の家に限る。）</p> <p>別表第二号備考第三号中「及び体育館」を「体育館及び運動場」に改める。</p> <p>附 則</p> <p>（施行期日）</p>	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">運動場（宮城県松島自然の家に限る。）</td> <td style="text-align: center;">二、〇〇〇円</td> <td style="text-align: center;">二、〇〇〇円</td> <td style="text-align: center;">二、三〇〇円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>	運動場（宮城県松島自然の家に限る。）	二、〇〇〇円	二、〇〇〇円	二、三〇〇円	/	/	/	/
運動場（宮城県松島自然の家に限る。）	二、〇〇〇円	二、〇〇〇円	二、三〇〇円								
/	/	/	/								
<p>自然の家条例の一部を改正する条例をここに公布する。</p> <p>平成二十八年七月十二日</p> <p style="text-align: right;">宮城県知事 村 井 嘉 浩</p>											
<p>○宮城県条例第四十四号</p> <p>自然の家条例の一部を改正する条例</p> <p>自然の家条例（昭和五十年宮城県条例第四十六号）の一部を次のように改正する。</p> <p>別表第二号中「及び体育館」を「体育館及び運動場」に改め、同表に次のように加える。</p>											

改正案

現行

備考

別表（第六条関係）

二 研修室等、**体育館及び運動場**

区 分	使用料の額					
	午前（午前 九時から正 午まで）	午後（午後 一時から午 後五時まで）	夜間（午後 五時から午 後九時まで）	午前・午後 （午前九時 から午後五 時まで）	午後・夜間 （午後一時 から午後九 時まで）	午前・午後 ・夜間（午 前九時から 午後九時ま
研修室等 一室につき	二,一五〇〇円	二,一五〇〇円	二,一五〇〇円	二,一八〇〇円	二,一八〇〇円	三,一〇〇〇円
体育館	三,〇〇〇円	三,〇〇〇円	三,〇〇〇円	三,五〇〇円	三,五〇〇円	四,〇〇〇円
運動場（宮城県松島自然の家に限る。）	一,〇〇〇円	一,〇〇〇円		一,〇〇〇円		

別表（第六条関係）

二 研修室等**及び体育館**

区 分	使用料の額					
	午前（午前 九時から正 午まで）	午後（午後 一時から午 後五時まで）	夜間（午後 五時から午 後九時まで）	午前・午後 （午前九時 から午後五 時まで）	午後・夜間 （午後一時 から午後九 時まで）	午前・午後 ・夜間（午 前九時から 午後九時ま
研修室等 一室につき	二,一五〇〇円	二,一五〇〇円	二,一五〇〇円	二,一八〇〇円	二,一八〇〇円	三,一〇〇〇円
体育館	三,〇〇〇円	三,〇〇〇円	三,〇〇〇円	三,五〇〇円	三,五〇〇円	四,〇〇〇円

新施設「運動場」を設置するものを「運動場」の使用料の額を新設するもの

「研修室等」に「コテージ」を位置づけるもの

備考

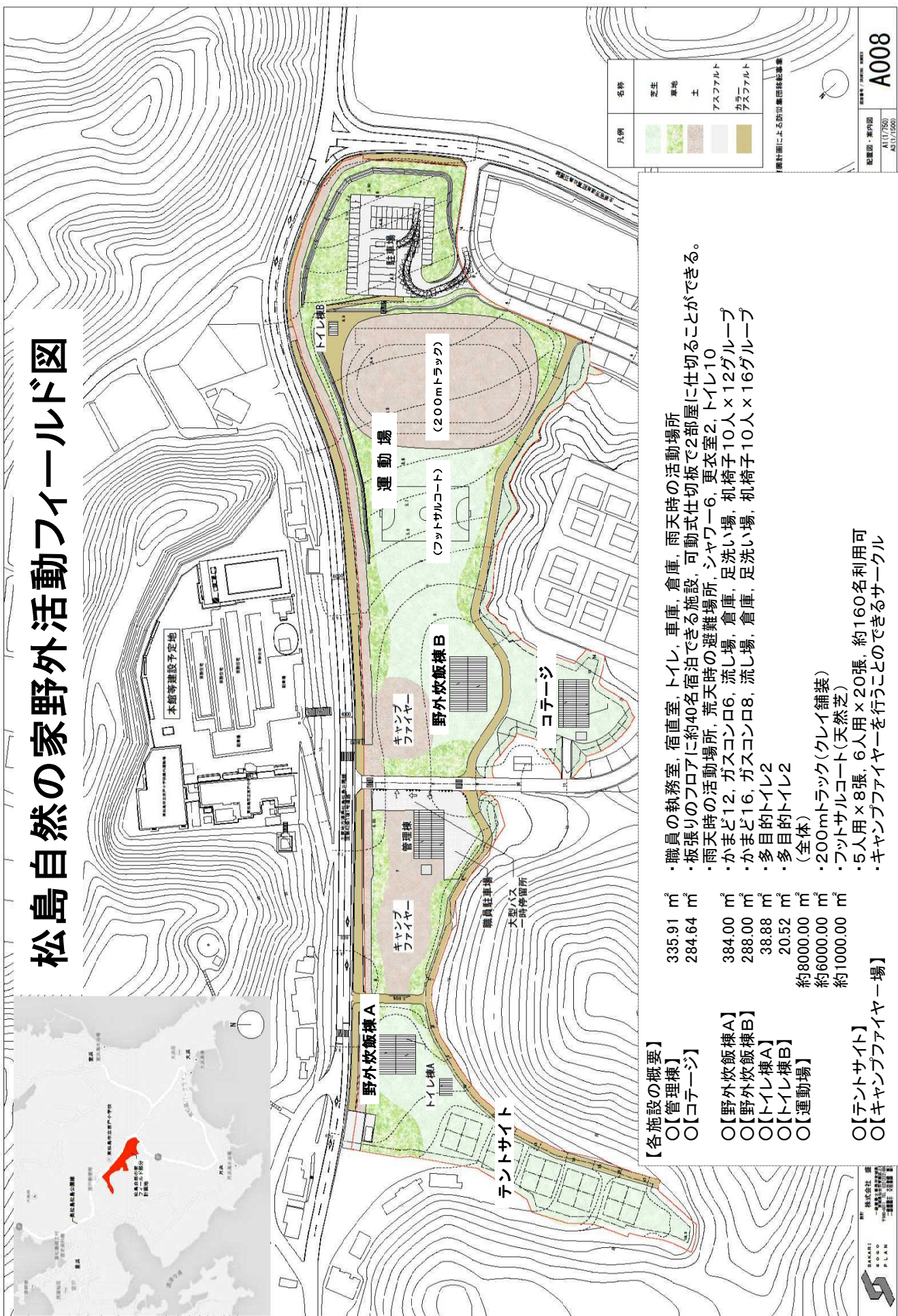
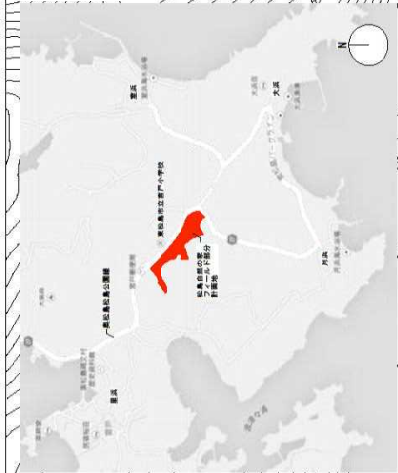
- 「研修室等」とは、次に掲げる施設をいう。
  - 研修室
  - オリエンテーション室（宮城県蔵王自然の家及び宮城県志津川自然の家に限る。）
  - プレイルーム（宮城県蔵王自然の家に限る。）
  - 音楽室（宮城県志津川自然の家に限る。）
  - 会議室（宮城県志津川自然の家に限る。）
- コテージ（宮城県松島自然の家に限る。）
- 使用時間がこの表に定める使用時間に満たない場合においても、時間割計算は行わない。
- 研修室等、**体育館及び運動場**の使用料は、これらと宿泊室、テント又は山小屋とを併せて使用する場合には、徴収しない。

備考

- 「研修室等」とは、次に掲げる施設をいう。
  - 研修室
  - オリエンテーション室（宮城県蔵王自然の家及び宮城県志津川自然の家に限る。）
  - プレイルーム（宮城県蔵王自然の家に限る。）
  - 音楽室（宮城県志津川自然の家に限る。）
  - 会議室（宮城県志津川自然の家に限る。）
- 使用時間がこの表に定める使用時間に満たない場合においても、時間割計算は行わない。
- 研修室等**及び体育館**の使用料は、これらと宿泊室、テント又は山小屋とを併せて使用する場合には、徴収しない。



# 松島自然の家野外活動フィールド図

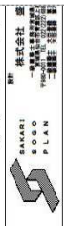


凡例	名称
[Green]	芝生
[Light Green]	草地
[Brown]	土
[Light Grey]	アスファルト
[Dark Grey]	ガラス
[Yellow]	アスファルト

種別計画による防犯集団移住事業

設計図・案内図  
A1(17/50)  
A5(11/100)  
**A008**

- 【各施設の概要】**
- 【管理棟】 335.91 m<sup>2</sup>
  - 【コートージ】 284.64 m<sup>2</sup>
  - 【野外炊飯棟A】 384.00 m<sup>2</sup>
  - 【野外炊飯棟B】 288.00 m<sup>2</sup>
  - 【トイレ棟A】 38.88 m<sup>2</sup>
  - 【トイレ棟B】 20.52 m<sup>2</sup>
  - 【運動場】 約8000.00 m<sup>2</sup>
  - 【テントサイト】 約6000.00 m<sup>2</sup>
  - 【キャンプファイヤー場】 約1000.00 m<sup>2</sup>
- ・職員の執務室、宿直室、トイレ、車庫、倉庫、雨天時の活動場所  
 ・板張りのフロアに約40名宿泊できる施設、可動式仕切板で2部屋に仕切ることができる。  
 ・雨天時の活動場所、雨天時の避難場所、シャワー6、更衣室2、トイレ10  
 ・かまど12、ガスコンロ6、流し場、倉庫、足洗い場、机椅子10人×12グループ  
 ・かまど16、ガスコンロ8、流し場、倉庫、足洗い場、机椅子10人×16グループ  
 ・多目的トイレ2  
 ・多目的トイレ2 (全体)  
 ・200mトラック(クレイ舗装)  
 ・フットサルコート(天然芝)  
 ・5人用×8張、6人用×20張、約160名利用可  
 ・キャンプファイヤーを行うことのできるサークル



第5号議案

自然の家管理規則の一部改正について

自然の家管理規則（平成17年宮城県教育委員会規則第16号）の一部を別紙のとおり改正する。

平成28年9月12日提出

宮城県教育委員会教育長 高橋 仁

自然の家管理規則の一部を改正する規則  
 自然の家管理規則（平成十七年宮城県教育委員会規則第十六号）の一部を次のように改正する。

様式第一号及び様式第二号中、

「

会議場																			
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

」を

「

会議場																				田
コテージ																				田

」に

「

野外炊飯施設																					田
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

」を

「

野外炊飯施設																					田
運動場																					田

」に改める。

附 則

この規則は、平成二十八年十月一日から施行する。

様式第一号（第五条関係）

改正案

自然の家使用許可申請書

年月日

宮城県 自然の家所長 殿

申請者 住所  
氏名又は名称  
(法人その他の団体にあつては、代表者の氏名)  
電話番号

下記のとおり使用したいので許可されるよう申請します。

記

行事名称		氏名	
使用目的	連絡先	電話番号	
		FAX番号	
使用しようとする人数	使用しようとする日時	年月日時分から	
		年月日時分まで	

区 分	中学生及びこれに準ずる者以下		高校生及びこれに準ずる者		学習活動等の引率者		一般(大学生を含む。)		計	※使用料
	男	女	男	女	男	女	男	女		
宿 泊	宿 泊 室									円
	テ ン ト									円
日 帰 り	山 小 屋									円
	研 修 室									円
	フレイルーム									円
	コヒナシヨウ									円
	音楽室									円
	会議室									円
	コテージ									円
	体育館									円
	野外炊飯施設									円
	運動場									円
	その他									円

(注) ※印の欄は記入しないでください。

様式第二号（第五条関係）

自然の家使用許可書

第 号  
年 月 日

殿 宮城県 自然の家所長

年 月 日付けで申請のあった自然の家の使用については、下記のとおり許可します。

記

行事名称		氏名	
使用目的	連絡先	電話番号	
		FAX番号	
使用しようとする人数	使用しようとする日時	年月日時分から	
		年月日時分まで	

区 分	中学生及びこれに準ずる者以下		高校生及びこれに準ずる者		学習活動等の引率者		一般(大学生を含む。)		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
宿 泊	宿 泊 室								
	テ ン ト								
日 帰 り	山 小 屋								
	研 修 室								
	フレイルーム								
	コヒナシヨウ								
	音楽室								
	会議室								
	コテージ								
	体育館								
	野外炊飯施設								
	運動場								
	その他								

様式第一号（第五条関係）

現 行

自然の家使用許可申請書

年月日

宮城県 自然の家所長 殿

申請者 住所  
氏名又は名称  
(法人その他の団体にあつては、代表者の氏名)  
電話番号

下記のとおり使用したいので許可されるよう申請します。

記

行事名称		氏名	
使用目的	連絡先	電話番号	
		FAX番号	
使用しようとする人数	使用しようとする日時	年月日時分から	
		年月日時分まで	

区 分	中学生及びこれに準ずる者以下		高校生及びこれに準ずる者		学習活動等の引率者		一般(大学生を含む。)		計	※使用料
	男	女	男	女	男	女	男	女		
宿 泊	宿 泊 室									円
	テ ン ト									円
日 帰 り	山 小 屋									円
	研 修 室									円
	フレイルーム									円
	コヒナシヨウ									円
	音楽室									円
	会議室									円
	コテージ									円
	体育館									円
	野外炊飯施設									円
	その他									円

(注) ※印の欄は記入しないでください。

様式第二号（第五条関係）

自然の家使用許可書

第 号  
年 月 日

殿 宮城県 自然の家所長

年 月 日付けで申請のあった自然の家の使用については、下記のとおり許可します。

記

行事名称		氏名	
使用目的	連絡先	電話番号	
		FAX番号	
使用しようとする人数	使用しようとする日時	年月日時分から	
		年月日時分まで	

区 分	中学生及びこれに準ずる者以下		高校生及びこれに準ずる者		学習活動等の引率者		一般(大学生を含む。)		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
宿 泊	宿 泊 室								
	テ ン ト								
日 帰 り	山 小 屋								
	研 修 室								
	フレイルーム								
	コヒナシヨウ								
	音楽室								
	会議室								
	コテージ								
	体育館								
	野外炊飯施設								
	その他								

の「新施設「コテージ」を、「新施設「運動場」を、「日帰り」に加えるもの」「新施設「コテージ」を、「新施設「運動場」に加えるもの」

備考

## 自然の家管理規則の一部改正の概要

### 1 改正理由

松島自然の家の野外活動フィールドの供用開始に伴い、新たに「コテージ」及び「運動場」の日帰り利用が可能となることから、本規則において所要の様式の改正を行う必要があるため。

### 2 改正内容

様式第1号及び第2号中、日帰りの区分に「コテージ」及び「運動場」の項を加えるもの。

### 3 施行日

平成28年10月1日

## 第4回宮城県教育振興審議会の開催概要について

### 1 開催日時

平成28年9月1日（木） 午前10時から午前11時54分まで

### 2 開催場所

宮城県行政庁舎4階 特別会議室

### 3 出席者

別添出席者名簿のとおり（16名出席）

### 4 内 容

#### （1）議 事

- ・ 第2期宮城県教育振興基本計画（中間案）について

### 5 主な意見

#### （1）第2章 本県教育の現状

##### 【1 本県教育を取り巻く社会の状況】に関する意見

- ・ 「(4)ICTの進展」について、文部科学省がいう「情報活用能力」は、「情報活用の実践力」、「情報科学的な理解」、「情報社会に参画する態度」の3つの要素から定義されていることから、「情報社会に参画する態度」を本文に追加してはどうか。（堀田委員）
- ・ 「(3)グローバル化の進展」と「(4)ICTの進展」について、県の置かれている状況の記載を追加してはどうか。（加藤委員）

##### 【2 本県教育の課題】に関する意見

- ・ 「(3)体力・運動能力の低下」について、学校の組織的な取組として、運動習慣の確立に加え、健康管理の確立も追記してはどうか。（山内委員）
- ・ 課題に対する取組の関係が分かりにくい。（山田委員）

##### 【3 宮城県教育振興基本計画の検証】に関する意見

- ・ 第2期計画における志教育の目標指標の検討に当たっては、目指す方向にきちんと沿ったものとなるよう意識してほしい。（瀬野尾委員）

- ・ 「基本方向 4」について、教員が生徒と向き合える時間の確保というのも非常に大事になってくることから、教育環境づくりの課題の一つとして、教員の多忙化解消を追記してはどうか。(熊谷委員)

## (2) 第 4 章 施策の展開

### 【基本方向 1：豊かな人間性と社会性の育成】に関する意見

- ・ 志教育の視点というのは、大人になった姿を子どもだけではなく教員もそれを認識するということが、最も大事な考え方だと思う。「志教育」の推進のイメージ図の中に描いていただくと非常に分かりやすく、県が構想しているものがもっとよく伝わるのではないか。(村上委員)

### 【基本方向 2：健やかな体の育成】に関する意見

- ・ ルルブル運動は、【基本方向 3：確かな学力の育成】や【基本方向 9：家庭・地域・学校が連携・協働して子どもを育てる環境づくり】にも記述されているが、宮城県独自の良い取組なので、「健やかな体の育成」でも記述してはどうか。(山内委員)

### 【基本方向 3：確かな学力の育成】に関する意見

- ・ 「(2)の国際理解教育の推進」について、言語面と視野を広げるという記述はあるのだが、言語というのはあくまでもコミュニケーションの手段ということで、何のためにそれをやるのかという、目的たる部分の記述がない。文章の最後に、「相互の違いを理解した上で、国際交渉が出来る力を育む」という記述を追加してはどうか。(松良委員)
- ・ 「(3)ICT教育の推進」について、①「MIYAGI Style」の更なる推進、②学習の道具としてのICT、③基本的な生活習慣と情報モラル、④教員の仕事をバックヤードとして支える校務の情報化、⑤避難場所としての学校のネットワークインフラの整備、このような観点を追記してはどうか。また、自治体間格差に県がしっかりと働きかけるといような取組や指標があっても良いのではないか。(堀田委員)
- ・ 「(4)時代の要請に応えた教育の推進」について、時代の要請に応えた教育がシチズンシップ教育につながるということが分かりにくいので、具体的に記述してはどうか。(山田委員)

#### 【基本方向4：幼児教育の充実】に関する意見

- ・ 幼児教育を支えるということを考えると、〈本県教育のイメージ〉の中の教育現場の他に保育所を加えてはどうか。(村上委員)

#### 【基本方向5：多様な個性に対応したきめ細かな教育の推進】に関する意見

- ・ 「(2)個々の能力を最大限に伸ばす学校づくり」について、ICTは子どもと対応する時に有用なものであるものの、初めにICT等との記述があると、教材という意味がICTに限定されるのかと学校現場では誤解されかねないので、記述の場所を検討されたい。(村上委員)

#### (3) その他の意見

- ・ 施策等がイメージとして共有できるようなキーワードが必要ではないか。(瀨野尾委員)
- ・ いじめ問題や不登校問題のほか、学力の課題も学校だけの問題ではなく、家庭や地域にも内在したものがたくさんあると思う。学校を支える家庭や地域がもっとしっかりしていれば、学校はもっといろいろなことができるのではないかと思う。それを含めて、今後の宮城の教育をどうするか、計画にどう盛り込むのか、というところを是非考えていただきたいと思う。(木村委員)



## 第4回宮城県教育振興審議会 出席者名簿

(平成28年9月1日現在, 五十音順)

所 属	氏 名	備 考
有限会社伊豆沼農産代表取締役	いとう ひでお 伊藤 秀雄	
認定NPO法人カタリバ代表理事	いまむら くみ 今村 久美	欠席
宮城県高等学校長協会会長 (宮城県仙台第一高等学校長)	かとう じゅんいち 加藤 順一	
国立大学法人東北大学加齢医学研究所所長	かわしま りゅうた 川島 隆太	欠席
宮城県高等学校PTA連合会役員 (宮城県古川黎明高等学校PTA役員)	かわむかい まみ 川向 真美	
耕人塾塾長 (学校法人石巻専修大学教授)	きむら たみお 木村 民男	
仙台市中学校長会会長 (仙台市立東仙台中学校長)	くまがい まさひろ 熊谷 祐彦	
宮城県市町村教育委員会協議会委員 (松島町教育委員会委員)	せのお ちえ 瀬野尾 千恵	
NPO法人Switch理事長	たかはし ゆか 高橋 由佳	
有限会社岩沼屋ホテル専務取締役	たちばな まきこ 橘 真紀子	欠席
学校法人宮城学院女子大学長	ひらかわ あらた 平川 新	
気仙沼市家庭教育推進協議会長	ほし みほ 星 美保	
国立大学法人東北大学大学院教授	ほりた たつや 堀田 龍也	
前宮城県PTA連合会副会長 (前富谷町立成田中学校PTA会長)	ますだ えみこ 増田 恵美子	
宮城県私立中学高等学校連合会会長 (学校法人常盤木学園理事長)	まつら ちひろ 松良 千廣	
宮城県小学校長会副会長 (大河原町立大河原小学校長)	まるやま ちかこ 丸山 千佳子	欠席
国立大学法人宮城教育大学大学院教授 (前宮城教育大学附属特別支援教育総合研究センター長)	むらかみ よしのり 村上 由則	
宮城県私立幼稚園連合会理事長 (学校法人村山学園・学校法人おおとり学園理事長)	むらやま とうご 村山 十五	
NPO法人宮城県レクリエーション協会事務局長	やまうち なおこ 山内 直子	
東北電子産業株式会社代表取締役社長	やまだ りえ 山田 理恵	

第4回宮城県教育振興審議会 事務局出席者名簿

所 属		氏 名	備考
教育庁	教育長	高 橋 仁	
〃	教育監兼教育次長	鈴 木 洋	
〃	教育次長	西 村 晃 一	
〃	参事兼総務課長	志子田 伸一	
〃	教育企画室長	伊 藤 正 弘	
〃	参事兼福利課長	菊 田 真 澄	
〃	教職員課長	山 本 剛	
〃	参事兼義務教育課長	清 元 けい子	
〃	特別支援教育室長	門 脇 恵	
〃	高校教育課長	岡 邦 広	
〃	参事兼施設整備課長	横 山 生 次 郎	
〃	スポーツ健康課長	松 本 文 弘	
〃	全国高校総体推進室長	鎌 田 直 人	
〃	生涯学習課長	新 妻 直 樹	
〃	全国高校総合文化祭推進室長	田 村 豊	
〃	技術参事兼文化財保護課長	山 田 晃 弘	
総務部	参事兼私学文書課長	中 村 今 日 子	
保健福祉部	子育て支援課長	志 賀 慎 治	

# 第2期宮城県教育振興基本計画（中間案）概要

## 第1章 計画の策定に当たって

### ◆策定の趣旨

平成22年3月に「宮城県教育振興基本計画」(以下、「第1期計画」という。)を策定後、人口減少と少子高齢化の急速な進行、東日本大震災の発生により、子どもや社会を取り巻く環境が大きく変化していることに加え、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、教育委員会制度の抜本的な改革が行われたことなどから、改めて教育施策の方向性等を示す「第2期宮城県教育振興基本計画」を策定するもの。

### ◆計画の位置付け

- 第1期計画の後継計画として、本県教育の目指すべき姿を明らかにするとともに、取り組むべき施策の方向性等を示す計画
- 教育基本法第17条第2項の規定に基づき地方公共団体が策定する計画

### ◆計画の期間

- 平成29年度を初年度とし、平成38年度を目標年度とする10年間
- 本計画に掲げた目標を着実に推進するため、具体的な施策及び事業を示すアクションプランを別途策定

## 第2章 本県教育の現状

### ◆本県教育を取り巻く社会の状況

- 東日本大震災からの復興
- 人口減少社会の到来と地方創生の推進
- グローバル化の進展
- ICT(情報通信技術)の進展
- 雇用情勢の動向
- 子どもの貧困率の悪化
- 家庭環境や地域社会の変化
- 文化芸術・スポーツへの関心の高まり
- 国の教育改革の動向

### ◆本県教育の課題

- いじめ問題への対応
- 不登校児童生徒の増加
- 体力・運動能力の低下
- 基礎的・基本的な学習内容の定着
- 英語教育の推進
- 教育の情報化の推進
- 幼児教育の推進
- 特別な支援を必要とする児童生徒の増加
- 文化財の活用の促進
- 防災体制の確立と次世代への継承
- 教員の資質能力の向上と知識・技能の伝承
- 家庭教育への支援
- 地域の教育力の向上
- 県民の学習ニーズをとらえた生涯学習の推進
- 生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実

### ◆第1期計画の検証

#### <基本方向1:学ぶ力と自立する力の育成>

- 小・中学生ともに全国学力・学習状況調査の結果が全国平均を下回る傾向、高校生の学習習慣が定着していない。本県独自の学力・学習状況調査の実施と活用、「学力向上に向けた5つの提言」を全ての教員に示すなど、学力向上に向けて取り組んできたが、依然として「確かな学力」の定着に課題が見られる。
- 震災の影響により、多様なニーズに応じた学習機会の確保が課題となっている。

#### <基本方向2:豊かな人間性や社会性、健やかな体の育成>

- いじめの認知件数や不登校の児童生徒の人数は、震災の影響等も加わり全国平均を上回って増加傾向にあり、いじめ・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応が喫緊の課題となっている。
- 小・中学生ともに全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が全国平均を下回る傾向が見られており、外遊びや運動する場所の確保など、子どもたちの体力・運動能力の向上に向けた取組が課題となっている。

#### <基本方向3:障害のある子どもへのきめ細かな教育の推進>

- 仙台圏域を中心とした特別支援学校の狭隘化は未だ大きな課題、「宮城県特別支援教育将来構想」に基づき、一人一人の様々な教育的ニーズに応じた適切な教育を展開し、合理的配慮の提供など、新たな取組にも対応していくことが求められている。

#### <基本方向4:信頼され魅力ある教育環境づくり>

- 教員の急激な世代交代が進むことを踏まえ、優れた教員の確保や若手教員への指導力の伝承などが課題となっている。
- 震災後は、被災した学校施設の復旧・再建、被災した児童生徒等に対する就学支援など、引き続き長期的・継続的な取組が求められている。

#### <基本方向5:家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる環境づくり>

- 震災の影響等もあり、朝食を欠食する児童が増加傾向、スマートフォン等の過度な使用による学習や睡眠、学校生活などへの影響も懸念されている。

#### <基本方向6:生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進>

- 震災により生涯学習を取り巻く環境が大きく変化したことから、学習施設の早期復旧をはじめ、生涯学習のための文化・スポーツ面での活動がより充実するための多方面での支援が必要である。

## 第3章 本県教育の目指す姿

### ◆目指す姿

学校・家庭・地域の強い絆のもとで、よりよい未来を創造する高い志を持った、心身ともに健やかな子どもが育っています。そして、人々が生きがいを持って、生涯にわたり、多様に学び、交流する中で、潤いのある文化を守り育む地域社会が形成されています。

### ◆計画の目標

#### <目標1>

自他の命を大切に、高い志と思いやりの心を持つ、心身ともに健やかな人間を育む。

#### <目標2>

夢や志の実現に向けて自ら学び、自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育む。

#### <目標3>

ふるさと宮城に誇りを持ち、東日本大震災からの復興、そして我が国や郷土の発展を支える人間を育む。

#### <目標4>

学校・家庭・地域の教育力の充実と連携・協働の強化を図り、社会全体で子どもを守り育てる環境をつくる。

#### <目標5>

生涯にわたり学び、互いに高め合い、充実した人生を送ることができる地域社会をつくる。

## 第4章 施策の展開 ◆施策の基本方向

### <基本方向1:豊かな人間性と社会性の育成>

- 生きる力を育む「志教育」の推進 **重点的取組1**
- 思いやりがあり感性豊かな子どもの育成 **重点的取組2**
- いじめ・不登校等への対応、心のケアの充実 **重点的取組3**

### <基本方向2:健やかな体の育成>

- 健康な体づくりと体力・運動能力の向上 **重点的取組4**
- 食育の推進
- 心身の健康を育む学校保健の充実

### <基本方向3:確かな学力の育成>

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用する力の伸長 **重点的取組5**
- 国際理解教育の推進
- ICT(情報通信技術)教育の推進
- 時代の要請に応えた教育の推進

### <基本方向4:幼児教育の充実>

- 幼児期における「学ぶ土台づくり」の推進 **重点的取組6**
- 幼児教育の充実のための環境づくり
- 幼児教育の推進に向けた体制づくり

### <基本方向5:多様な個性に対応したきめ細かな教育の推進>

- 自立と社会参加に向けた切れ目のない支援体制づくり **重点的取組7**
- 個々の能力を最大限に伸ばす学校づくり
- 共生社会の実現に向けた地域づくり

### <基本方向6:郷土を愛する心と社会に貢献する力の育成>

- 伝統・文化の尊重と郷土を愛する心の育成
- 文化財の保護と活用
- 宮城の将来を担う人づくり **重点的取組8**

### <基本方向7:命を守る力と共に支え合う心の育成>

- 系統的な防災教育の推進 **重点的取組9**
- 地域と連携した防災・安全体制の確立

### <基本方向8:安心して学べる教育環境づくり>

- 教員の資質能力の総合的な向上 **重点的取組10**
- 学びのセーフティネットの構築に向けた学習環境の整備充実 **重点的取組11**
- 開かれた魅力ある学校づくりの推進 **重点的取組12**
- 学校施設・設備の整備充実
- 私学教育の振興

### <基本方向9:家庭・地域・学校が連携・協働して子どもを育てる環境づくり>

- 家庭の教育力を支える環境づくり **重点的取組13**
- 地域と学校の新たな連携・協働体制の推進 **重点的取組14**
- 子どもたちが安全で安心できる環境づくり

### <基本方向10:生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進>

- 誰もがいつでも学ぶことができる環境の充実 **重点的取組15**
- 多様な学びによる地域づくり
- 文化芸術活動の推進
- スポーツの価値を活用した生涯スポーツ社会の構築 **重点的取組16**
- 競技力向上に向けたスポーツ活動の推進

## 第5章 計画の推進

### ◆計画の推進に向けた施策の在り方

- アクションプランの策定及び計画の見直し
- 計画の点検・評価

### ◆県民総がかりによる教育施策の展開

### ◆関係機関、関係団体等との連携

- 学校での着実な実践
- 家庭や地域、企業や大学等との連携・協働
- 市町村教育委員会との連携
- 県関係部局との連携

## 平成29年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者第1次選考の結果について

平成28年8月29日

校種	教科等	平成29年度				平成28年度			
		出願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	出願者数	欠席者数	受験者数	合格者数
小学校		971	52	919	539	1,031	79	952	540
中学校	国語	111	7	104	40	122	6	116	61
	社会	247	23	224	34	266	21	245	46
	数学	184	8	176	37	185	12	173	80
	理科	102	9	93	39	105	9	96	40
	技術	24	2	22	14	26	1	25	14
	英語	165	18	147	39	216	15	201	50
	小計	833	67	766	203	920	64	856	291
中・高	保体	374	53	321	53	381	45	336	78
	音楽	74	8	66	23	85	11	74	24
	美術	66	7	59	16	73	4	69	18
	家庭	40	6	34	18	49	4	45	12
	小計	554	74	480	110	588	64	524	132
高校	国語	82	10	72	27	96	7	89	24
	公民	53	8	45	21	57	6	51	12
	地歴	108	20	88	21	106	22	84	30
	数学	116	9	107	27	144	9	135	22
	理科	121	7	114	40	135	12	123	48
	農業	15	2	13	8	23	1	22	10
	水産	2	1	1	1	2	0	2	2
	工業	51	8	43	18	55	4	51	30
	商業	38	2	36	12	54	6	48	16
	英語	93	6	87	34	107	19	88	30
	看護	募集せず				1	0	1	1
	理療	募集せず				5	1	4	4
	福祉	15	4	11	7	19	1	18	14
	小計	694	77	617	216	804	88	716	243
養護教諭	249	17	232	39	261	20	241	52	
栄養教諭A	11	0	11	10	12	1	11	11	
栄養教諭B	42	5	37	7	40	5	35	9	
合計	3,354	292	3,062	1,124	3,656	321	3,335	1,278	

## 備考

- ◎ 第2次選考 平成28年9月16日(金)・17日(土), または19日(月)・20日(火)のうちいずれか。会場は別途本人あて通知。
- ◎ 第2次選考結果は平成28年10月27日(木)午前10時にWebに掲載する。また同日付で本人あて通知する。

# 教育庁関連情報一覧（平成28年8月10日～平成28年9月11日）

資料配付（1）

## ○「みやぎ総文2017」新聞部門プレ大会を開催

平成29年夏に宮城で初めて開催される「第41回全国高等学校総合文化祭（みやぎ総文2017）」の新聞部門について、本番を想定したプレ大会を開催した。

### 【概要】

大会名 みやぎ総文2017プレ大会 【新聞部門】

日程 平成28年8月12日（金）

会場 東京エレクトロンホール宮城 602・603会議室

主催 第41回全国高等学校総合文化祭宮城県実行委員会 ほか

内容 全国高等学校総合文化祭新聞部門では、全国から集まった新聞部員が班別に分かれ、宮城県内各地を取材して交流新聞を作成する。

今回のプレ大会では本大会を想定し、県内の新聞部員が班別に分かれて県内を取材し、交流新聞を作成した。

(1) 取材（6人程度の班で2コースを取材）

①防災コース「被災地は今・・・仙台周辺を巡る」

取材場所：名取市閑上地区

②商業コース「仙台商人の足跡を巡る」

取材場所：クリスロード商店街、まちくる仙台

(2) 交流新聞作成



取材（防災コース）

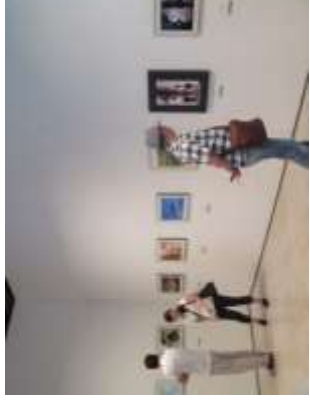


交流新聞作成



## ○「みやぎ総文2017」写真部門プレ大会を開催

平成29年夏に宮城で初めて開催される「第41回全国高等学校総合文化祭（みやぎ総文2017）」の写真部門について、本番を想定したプレ大会を開催した。



### 【概要】

大会名 みやぎ総文2017プレ大会【写真部門】  
 日程 平成28年8月13日（土）～16日（火）  
 会場 せんだいまぐろアテーク 6階ギャラリー  
 主催 第41回全国高等学校総合文化祭宮城県実行委員会 ほかに  
 内容 県内高校生の写真作品，約100点を展示

（担当：全国高校総合文化祭推進室）

## ○仙台東高等学校の生徒がアブダビ（アラブ首長国連邦）高校生と交流

昨年度に引き続き，仙台東高等学校にアブダビ高校生が来校し，互いの文化や学校紹介など通じて国際交流を図った。

### 【概要】

事業名 アブダビ高校生 日本招聘プログラム2016（経済産業省補助事業の一環）  
 日程 平成28年8月18日（木）  
 場所 仙台東高等学校  
 内容 ・プレゼンによる互いの学校紹介  
 ・アブダビ高校生の剣道体験  
 ・ハラルと呼ばれるイスラムの食事でランチ  
 ・仙台市内バスツアー（大崎八幡神社，秋保大滝等）  
 参加者 アブダビ高校生12名  
 （他に引率3名，コーディネーター2名，JICE職員1名）  
 仙台東高等学校生徒34名（他に教員3名）



（担当：高校教育課）

2

3

4	<p><b>○県内の児童生徒がリオデジャネイロオリンピックの閉会式における「フラッグハンドオーバーセレモニー」に協力</b>  リオデジャネイロ2016オリンピック競技大会の閉会式で実施されたフラッグハンドオーバーセレモニーで放映された映像に、本県の児童生徒が撮影協力した。</p> <p><b>【概要】</b></p> <p>内容 フラッグハンドオーバーセレモニーでの放映映像（人文字により世界へ感謝の気持ちを伝えるメッセージ）への協力協力校 ①メッセージ「RIO&amp;」  気仙沼市立気仙沼小学校・気仙沼中学校  ②メッセージ「FROM JAPAN」  利府町立利府小学校・利府第二小学校・利府第三小学校・しらかし台小学校・青山小学校・菅谷台小学校・利府中学校・しらかし台中学校・利府西中学校・宮城県立利府支援学校・利府高等学校</p> <p><b>【フラッグハンドオーバーセレモニーについて】</b>  リオデジャネイロから次の開催都市である、東京にオリンピック旗が引き継がれ、続いて、東京/日本を全世界に紹介する約8分間のパフォーマンス。世界のアスリートや観客の方々を、国民を挙げて歓迎する意思を表明するための大切なプレゼンテーション。</p> <p>組織委員会HP：<a href="https://tokyo2020.jp/ip/special/rio-to-tokyo/flaghandover/">https://tokyo2020.jp/ip/special/rio-to-tokyo/flaghandover/</a></p> <p>※映像・写真については、使用許可等の関係から掲載しておりません。</p> <p>(担当：スポーツ健康課)</p>
5	<p><b>○父親の家庭教育参画支援「お父さんと遊ぼう！！親子で楽しむ遊びの楽校」を開催</b>  親子によるふれあい活動の体験を通して、親子間のコミュニケーションを深めてもらうことを目的に、「お父さんと遊ぼう！！親子で楽しむ遊びの楽校」を開催した。</p> <p><b>【概要】</b></p> <p>日程 平成28年8月28日（日）  場所 名取市増田西公民館</p> <p>目的 父親の家庭教育や子ども会活動等の地域活動への参画を応援すること、社会全体で子育てをしようとする気運の醸成を図る。</p> <p>内容 ・宮城県で活躍しているおやじの会、お父さんの会の紹介  ・ニュースポーツの紹介、すずめ踊り講座  ・紙芝居、型抜き、スパーボールすくい など</p> <p>参加者 80名</p> <p>(担当：生涯学習課)</p>  

○都立高校生が宮城県沿岸地域で「合同防災キャンプ2016」宿泊研修を実施

地域防災へ貢献できる人材の育成を目的に、都立高等学校の生徒が東日本大震災の被災地である本県を会場に「合同防災キャンプ2016」を実施した。

また、当該事業では、石巻西高校と多賀城高校の生徒との交流活動も行った。

【概要】

日程 平成28年8月22日(月)～8月24日(水)  
 場所 宮城県沿岸地域(南三陸町, 多賀城市, 東松島市, 石巻市)  
 主催 東京都教育委員会  
 内容 ・多賀城高校生徒との交流活動  
 ・石巻西高校生徒との交流活動  
 ・南三陸町での復興支援ボランティア  
 ・防災士養成講座・演習等  
 参加者 都立高等学校生徒80名, 教員22名  
 多賀城高校生徒10名  
 石巻西高校生徒10名 他



(担当: スポーツ健康課)

6

○「サッカーU-14女子モンゴル代表チーム」が松島でトレーニングキャンプを実施

松島フットボールセンターでトレーニングキャンプを行うサッカーU-14女子モンゴル代表チームの選手及び関係者が、その報告のため8月16日(火)に県を表敬訪問した。

【キャンプスケジュール】

日程 平成28年8月12日(金)～8月21日(日)  
 場所 松島フットボールセンター  
 その他 日本サッカー協会が実施している「国際交流・アジア貢献活動」及び国際交流基金アジアセンターの支援を受けて実施したものの。



(担当: スポーツ健康課)

7



8	<p><b>○「張本智和選手」がラオックス卓球ジャパンオープン荻村杯2016 U-21男子シングルスで優勝</b></p> <p>ラオックス卓球ジャパンオープン荻村杯2016 U-21男子シングルスで優勝した張本智和選手及び関係者が、その報告のため8月25日（木）に県を表彰訪問した。</p> <p><b>【概要】</b>  大会名 2016 ITTFワールドツアースーパーシリーズラオックス卓球ジャパンオープン荻村杯  日程 平成28年6月15日（水）～6月19日（日）  会場 東京体育館</p> <p style="text-align: right;">(担当：スポーツ健康課)</p> 
9	<p><b>○「ヘレン・エカラレ選手（仙台育英）」及び「東北高校男子ソフトテニス部」がインターハイで優勝</b></p> <p>平成28年度全国高等学校総合体育大会（中国インターハイ）で優勝した仙台育英学園高等学校のヘレン・エカラレ選手（陸上競技女子3000m）及び東北高等学校ソフトテニス部（ソフトテニス競技男子団体）並びに関係者が、その報告のため9月5日（月）に県を表彰訪問した。</p> <p><b>【概要】</b>  大会名 平成28年度全国高等学校総合体育大会 2016 情熱疾走中国総体  日程 平成28年7月28日（木）～8月20日（土）  会場 中国ブロック各県</p> <p style="text-align: right;">(担当：スポーツ健康課)</p> 
10	<p><b>○「日本フットサルリーグ小倉純二COO」が知事表敬</b></p> <p>10月8日（土）にゼビオアリーナ仙台で開催される「Fリーグ10周年記念オールスターゲームsupported by DUARIG」の報告のため、日本フットサルリーグ小倉純二COO他関係者が、9月8日（木）に県を表彰訪問した。</p> <p><b>【概要】</b>  大会名 Fリーグ10周年記念オールスターゲームsupported by DUARIG  日程 平成28年10月8日（土）  会場 ゼビオアリーナ仙台</p> <p style="text-align: right;">(担当：スポーツ健康課)</p> 

### ○平成28年度「学ぶ土台づくり」研修会を開催

第2期「学ぶ土台づくり」推進計画に基づき、本県の幼児教育推進の一環として、幼稚園、保育園等の関係者（園長、教諭、保育士等）を対象とした研修会を開催した。2回目となる今年度は小学校教員も対象に加え、幼保小連携等についての情報交換（ワークショップ）も行った。

#### 【概要】

開催日 平成28年8月27日（土）

会場 県庁2階 講堂

内容 (1)説明「子ども子育て支援新制度について」

保健福祉部子育て支援課 大竹幸恵子育て支援政策専門監

(2)講演「教育要領・保育指針の改定を見据えた幼児教育・幼保小連携」

講師：宮城教育大学教育学部幼児教育講座 佐藤哲也教授

(3)情報交換

参加者 県内国公私立幼稚園の園長、教員等

県内保育所（園）及び認可外保育施設の所長（施設長）、保育士等

県内認定こども園の園長及び教員、保育士等 138名



(担当：教育企画室)

1 1

### ○平成28年度第44回宮城県高等学校定時制通信制教育「生徒の集い」開催

高等学校定時制通信制教育における生徒会活動の推進を図る一環として、生徒の自主性や生徒相互の連帯感を高めることをねらいとした「生徒の集い」を開催した。

#### 【概要】

日程 平成28年9月3日（土）9：50～14：00

場所 旭ヶ丘市民センター及び仙台市営地下鉄各駅周辺

主催 宮城県高等学校定時制通信制教育研究会、宮城県高等学校文化連盟定通部

内容 各校からの参加者47名が学校を超えて9班に分かれ、地下鉄の1日乗車券を使い

与えられたミッション（4枚の目的地の書かれたヒントカードを各班に配布、それが地下鉄のどの駅かを班で推理し、さらにその目的地までたどり着きカードに載っているものと同じ施設（建物）の写真をiPadで撮影する）を皆で協力しながら解決するというオリエンテーリングの取組。解決後、センターに戻った生徒は、学校の枠を超えてその日の出来事や発表の段取りについて楽しんで話し合いをし、誰が発表するのか、iPadの操作は誰がするのか等、撮影してきた写真を見て盛り上がっていました。県内に多くの仲間を増やすことができましたようです。



(担当：高校教育課)

1 2

### ○泉高等学校及び仙台東高等学校の英語科の生徒が学習成果を発表

県内の公立高校で英語科を設置している泉高等学校及び仙台東高等学校の生徒が、「英語科発表会」を開催し、日頃の学習の成果を披露した。

#### 【概要】

日時 平成28年8月29日(月)  
 場所 イズミテイ21 小ホール  
 発表内容 ・Recitation レシテーション(暗唱)  
 ・Show & Tell ショー&テル  
 ・Presentation プレゼンテーション  
 ・Skit スキット(寸劇)  
 ・Debate デイバート  
 参加者 泉高等学校英語科1, 2, 3年生及び保護者  
 仙台東高等学校英語科1, 2年生及び保護者  
 県内各高等学校, 泉区内中学校教員の参加希望者



プレゼンテーション  
 「日米の共通点・相違点」



スキット  
 「コンビニ店員と強盗」  
 (担当：高校教育課)

### ○第63回「国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール」宮城県予選を開催

高校生が国際連合に関する主張を通して、国際理解や国際協力について考えることを目的に、「国際理解・国際協力のための高校生的主張コンクール」宮城県予選を開催した。

#### 【概要】

日程 平成28年9月7日(水)  
 場所 仙台白百合学園高等学校  
 主催 宮城県高等学校国際教育研究会(県内の公立・私立で構成)  
 テーマ 下記3つテーマについて6分以内で意見発表  
 ① 国連加盟60周年を迎える日本は、その強みを活かしながら、今後、国連の場をどのように活用していくべきか。  
 ② 昨年、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されたが、今後、日本と国際社会はどのようにしてアジェンダの実施に取り組むべきか。  
 ③ あなたが国連事務総長だったら、紛争に伴う人道問題をどのようにして解決するか。  
 最優秀賞 仙台二華高等学校 2年 西貝 茂辰 ※10月に開催される全国大会に出場



(担当：高校教育課)



**○仙台第三高等学校の生徒が「グローバル・リンク・シンガポール2016」で「サイエンスオラールセッション部門ベストプレゼンテーション賞」を受賞**

仙台第三高等学校の生徒が、今年7月にシンガポールで開催された国際大会であるアジア地域における中学生のアイデアコンテスト「グローバル・リンク・シンガポール2016」での研究発表で、「サイエンスオラールセッション部門ベストプレゼンテーション賞」を受賞し、報告のため、9月8日（木）に県を表彰訪問した。

**【開催概要】**

開催日 平成28年7月23日（土）～26日（火）  
 会場 シンガポール イェール-NUS大学・シンガポール国立大学（NUS）  
 受賞者 仙台第三高等学校 3年 岩間 公希  
 研究内容 「廃コンクリートの再固化技術の開発～捨てられるがれきに新たな命を～」  
 参加者 アジア圏6つの国と地域（日本・シンガポール・マレーシア・タイ・インドネシア・台湾）から、計27校、82名の中学生が参加  
 ※「グローバル・リンク・シンガポール」とは

アジア地域を中心とする世界各国の中学生が、科学や国際課題に関する考え・研究成果を持ち寄り、英語を使って国際舞台で発表や意見交換を行う国際大会。



（担当：高校教育課）

**○岩ヶ崎高等学校で英語教育研究会を開催**

県の先進的英語教育充実支援事業拠点校の指定を受けている岩ヶ崎高等学校において、関西大学外国語学部教授の田尻悟郎氏を招き、英語教育研究会を開催した。

**【開催概要】**

開催日 平成28年9月9日（金）  
 場所 岩ヶ崎高等学校  
 内容 公開授業① 岩ヶ崎高教員  
       公開授業②③ 田尻悟郎教授  
 講演会 「生徒の心につける英語の授業」 田尻悟郎教授  
 参加者 県内の英語教員等 約70名



（担当：高校教育課）

15

16

## ○ベガルタ仙台のホームゲームで南東北インターハイをPR

8月27日(土)にユアテックスタジアム仙台で行われたベガルタ仙台のホームゲームで、高校生活動推進委員の生徒が南東北インターハイのPR活動を行った。当日の来場者は14,000人を超え、試合開始前にスタジアム前の広場でチラシとポケットテトイッシュュを配布。ハーフタイムには横断幕とのぼりを持ってピッチを歩き、多くの観客へPRを行った。

※来年のインターハイでは、ユアテックスタジアム仙台で男女サッカーの決勝戦が行われる。



(担当：全国高校総体推進室)

## ○『みやぎ総文2017・南東北インターハイ開催300日前PRイベント』を開催

来年の夏に宮城県を会場に開催される「みやぎ総文2017」及び「南東北インターハイ」について広く県民へ周知するため、県内高校生による開催300日前PRイベントを開催した。

### 【概要】

日時 平成28年9月11日(日) 午前10時～午後4時

場所 アリオ仙台泉

内容

①ステージイベント<会場：1階センターコート>

- ・吹奏楽演奏、書道パフォーマンス、小倉百人一首かるたの実演 ・少林寺拳法演武
- ・みやぎ総文2017大会マスコミキャラクターむすび丸とのじやんけん大会

【ゲスト】 ロンドン五輪フェンシング団体銀メダリスト 千田健太氏

②高校生が製作した芸術作品等の展示<会場：4階通路>

③インターハイ年表・開催競技紹介パネルの展示<会場：1階センターコート>

④生徒委員によるPR活動

- ・チラシ、ポケットテトイッシュュの配布 ・創造の短冊プロジェクト



(担当：全国高校総体推進室、全国高校総合文化祭推進室)

## ○「算数チャレンジ大会2016」(本選)を開催

本県児童の算数に対する興味・関心を高め、数学的な思考力や表現力を育む一環として、昨年度に引き続き、県内(仙台市を除く。)の市町村立小学校の児童を対象とした「算数チャレンジ大会(算チャレ)2016」の本選を開催した。

### 【概要】

期 日 平成28年9月10日(土)

会 場 県庁2階 講堂

競技方法 3人一組のチームで協力して問題を解き、その得点で競う。

(30問×5点 計150点満点)

参加人数 予選を通過した28チーム, 84名(当日:1チーム棄権し27チーム, 欠席等で80名)

結 果 第1位 名取市立下増田小学校(チーム名:森のくまさんとゆかいな仲間たち) 得点90点

石巻市立須江小学校(チーム名:チーム100) 得点90点

第2位 大河原町立大河原小学校(チーム名:大小元気100%) 得点85点

名取市立増田小学校(チーム名:増田まめ先生クラブ) 得点85点

第3位 角田市立角田小学校(チーム名:BR TANZ(バルタンズ)) 得点80点

大河原町立大河原小学校(チーム名:さくらMR T) 得点80点

大崎市立古川第二小学校(チーム名:古二小Bチーム) 得点80点

※予選は7月30日(土)に開催し, 284チーム847名の児童が参加



(担当: 義務教育課)

## 第43回東北総合体育大会の結果について （第71回国民体育大会東北ブロック大会）

### 1 概要

- (1) 競技数 37競技
- (2) 期 日 主会期 20競技  
平成28年8月19日(金)～8月21日(日)  
主会期外 17競技
- (3) 会 場 青森県下 8市4町1村  
岩手県盛岡市（アイスホッケー）、岩手県奥州市（馬術）、  
宮城県柴田町（水泳／水球）、  
山形県天童市（水泳／シンクロイスト・スイミング）
- (4) 宮城県選手団

本部役員	監督	選手	合計
14人	105人	863人	982人

※アイスホッケー競技を除く。

### 2 結果

- (1) 東北各県の状況

	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
国体出場権獲得数 （全県出場枠を除く）	34	93	64	34	39	49

※岩手は国体開催県のため全種別出場

※陸上競技，レスリング，自転車，相撲，セーリング，水泳（競泳）は全県出場

### 3 第71回国民体育大会について

- (1) 競技数 正式競技 37競技 会期前実施競技（水泳）を含む  
特別競技 1競技 高等学校野球（硬式，軟式）
- (2) 主 催 公益財団法人日本体育協会 文部科学省 岩手県
- (3) 期 日 本大会  
平成28年10月1日(土)～10月11日(火)（11日間）  
会期前  
平成28年9月4日(日)～9月11日(日)（8日間）
- (4) 会 場 岩手県下 12市10町3村
- (5) 宮城県選手団

本部役員	監督	選手	合計
30人	76人	522人	628人

## 平成28年度学校の校庭等における空間放射線量率測定結果について

東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故に伴って放出された放射性物質による県内の学校等への影響について確認するため、県内の学校・保育所等1,426施設において測定を行ったところ、全ての施設で $0.23\mu\text{Sv/h}$ (年間の追加被ばく線量 $1\text{mSv}$ に相当する1時間当たりの空間放射線量率。除染を実施する目安値)を下回った。

- 1 測定期間 平成28年6月から8月まで
- 2 測定施設数 1,426施設（小・中・高等学校の91.0%で測定を実施）
- 3 測定結果の概要

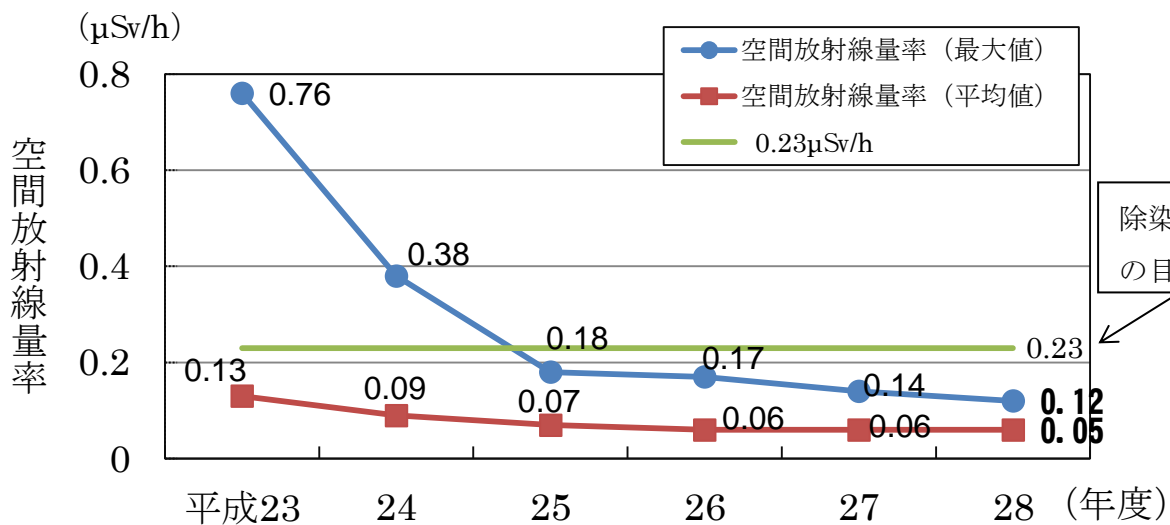
### (1) $0.23\mu\text{Sv/h}$ 以上を記録した施設数

・平成25年度以降、測定を行った全ての施設で $0.23\mu\text{Sv/h}$ を下回っている。

	平成23年度	平成24年度	平成25～28年度
$0.23\mu\text{Sv/h}$ 以上を記録した施設数	164施設 (10.1%)	29施設 (1.8%)	0施設 (0%)

### (2) 空間放射線量率の推移

- ・放射性物質の半減期及び風雨などの自然要因による減衰により、昨年度と比較してやや低下した。
- ・最大値は年々低下しており、平成25年度以降は基準値を下回っている。
- ・平均値は調査を開始した平成23年度以来、6年間とも基準値を下回っている。



## 4 その他

- (1) 各学校等の測定結果の詳細は、「放射能情報サイトみやぎ」で公表予定 (<http://www.r-info-miyagi.jp/r-info/school/>)
- (2) 市町村ごとの測定結果は裏面のとおり



# 平成28年度学校の校庭等における空間放射線量率測定結果

市町村名		平成28年度		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等教育	特別支援学校	保育所等						計	その他	合計
		平均 ( $\mu$ Sv/h)	最大 ( $\mu$ Sv/h)							保育所	へき地保育所	児童館	子育て拠点施設	認可外保育施設	認定こども園			
仙台市	市立小・中学校	0.04	0.06		121	63												184
	その他学校	0.05	0.10		3	1	26	1	7									38
	保育所等	0.04	0.11							127		78		49	2	256	12	268
	幼稚園	0.05	0.07	34														34
石巻市		0.06	0.09	5	10	3	8		1	23					1	24		51
塩竈市		0.05	0.07	6	7	5	2			10						10		30
気仙沼市		0.06	0.08	11	17	12	5		1	9	10	3		4		26		72
白石市		0.09	0.12	3	10	5	2		1	8		2				10		31
名取市		0.06	0.08	6	10	5	3		1	8		9			1	18		43
角田市		0.07	0.11	4	7	3	2		1	2		6	1			9		26
多賀城市		0.05	0.06	6	6	4	3			14		2			1	17	1	37
岩沼市		0.07	0.10	4	4	4	1		1		11	3		4		18	1	33
登米市		0.05	0.07	14	22	10	3		1	7						7		57
栗原市		0.05	0.12	11	13	8	5		1	8					1	9	1	48
東松島市		0.06	0.07	4	8	3	2			8						8		25
大崎市		0.06	0.12	17	29	11	9		1	45	2	9	2			58	13	138
蔵王町		0.06	0.09	3	5	3	1				2	5		2		9		21
七ヶ宿町		0.08	0.09		1	1	2			1						1		5
大河原町		0.08	0.10	1	3	2	2			4		1				5		13
村田町		0.06	0.09	2	2	2	1			1			1			2		9
柴田町		0.06	0.10	5	6	3	1		1	3		2				5	2	23
川崎町		0.06	0.06	1	4	2	1		1						1	1		10
丸森町		0.08	0.10		9	1	1			3	1	2			1	7	1	19
亘理町		0.05	0.08	2	6	4	1			8		3				11		24
山元町		0.06	0.08	2	3	2			1	2						2		10
松島町		0.06	0.07	2	3	1	1			3		1				4		11
七ヶ浜町		0.05	0.07	5	3	2				1			1			2		12
利府町		0.05	0.06		6	3	1		1									11
大和町		0.04	0.06	2	6	2	1			4		7				11		22
大郷町		0.04	0.04	1	1	1												3
富谷町		0.04	0.06	5	8	5	1		1	7						7		27
大衡村		0.05	0.05		1	1				1		1			1	3		5
色麻町		0.04	0.05	1	1	1	1			2						2		6
加美町		0.07	0.09	3	9	3	1			1					5	6		22
涌谷町		0.05	0.06	3	3	1	1			2		1		1		4	3	15
美里町		0.05	0.07	3	6	3	2		2	2		4		6		12		28
女川町		0.07	0.08		1	1			1	2						2	1	6
南三陸町		0.06	0.08		5	2	1			2					1	3		11
県全体		0.06	0.12	166	359	183	91	1	24	318	26	139	5	66	15	569	35	1,428



特別展

# ク日 ジ本 ラ人 と



平成28年

10.8(土)-12.4(日)

開館時間 午前9時30分～午後5時  
(発券は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(10月10日は開館)  
10月11日

観覧料	一般	800円(700円)
	シルバー	700円(600円)
	小中高校生	300円(200円)

※常設展もご覧いただけます。  
※( )内は20名様以上の団体料金  
※シルバーは65歳以上の方  
※入場口で身分証明書(免許証・保険証等)を  
ご呈示いただく場合がございます。  
ご了承ください。

主催:東北歴史博物館

共催:河北新報社 / NHK 仙台放送局

後援:多賀城市 / 多賀城市教育委員会 / 多賀城市観光協会 / 多賀城・七ヶ浜商工会 /

TBC東北放送 / 仙台放送 / KHB東日本放送 / ミヤギテレビ /

朝日新聞仙台総局 / 毎日新聞仙台支局 / 読売新聞東北総局 / 産経新聞社東北総局 /

エフエム仙台 / 宮城ケーブルテレビ

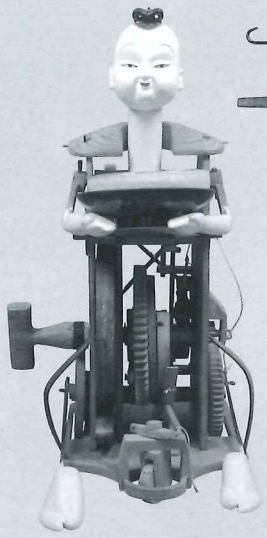
芸術銀河共催事業

## 東北歴史博物館 TOHOKU HISTORY MUSEUM

JR東北本線国府多賀城駅となり / 三陸自動車道「多賀城IC」から車で約5分



クジラの祖先(バキケトウス)  
(約5000万年前) 太地町くじらの博物館



クジラヒゲの  
ぜんまいで動く人形(複製)  
(原資料は江戸時代) 太地町くじらの博物館



クジラの竜田揚げの給食  
(昭和27年頃) 埼玉県学校給食歴史館



鯨の解体の様子を描いた浮世絵(日本名産図 歌川国芳) 勇魚文庫

# 日本人とクジラ

特別展

捕鯨モリ  
(三重県尾鷲市 江戸から明治)  
尾鷲市中央公民館



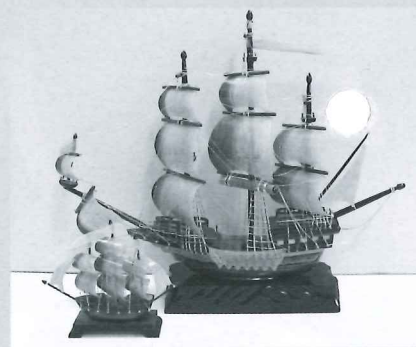
鯨油で作った石鹸  
(アメリカ 20世紀) 勇魚文庫



鯨の大漁を記念した着物(重要有形文化財 マイワイ)  
(千葉県館山市 昭和) 館山市立博物館



鯨缶のレッテル  
(石巻市 戦前) 勇魚文庫



クジラヒゲで作られたオランダ船  
(長崎 昭和) 個人

四方を海に囲まれた日本列島に住むわたしたちは、古くから海とのかかわりを持ち、多くの恵みを海から授かって来ました。「クジラ」もそうした授かり物のひとつで、その歴史は長く、古くは縄文時代まで遡る事ができます。なかでも宮城県は近代捕鯨の中心的基地をかかえ、クジラとのかかわりの深い地域でした。「クジラ」は、ある時は食料として、ある時は祭の主役として、またある時は芸術の対象として私達の暮らしの中の様々な場面にあらわれます。

この展示では、日本人とクジラのかかわりを「クジラ文化」と捉え、それを紹介します。



輸出用のプリキのおも  
(1955年) 勇魚文庫

## ■ 展示解説会

毎週日曜日 午前11時～ 場所:特別展示室 担当:当館職員  
(特別展観覧チケットが必要です。)

## 割引情報

※本展覧会の半券提示で、宮城県美術館特別展「ポーラ美術館コレクション モネからピカソ、シャガールへ」[会期:2016年11月13日(日)まで]を100円割引でご覧いただけます。(美術館窓口にお持ちください。)

## 今回の展覧会

## 特別展「工芸継承」

2017年1月14日(土)～2月26日(日)

昭和3年、工芸品の近代化とデザイン開発を目的に国立工芸指導所が仙台に設置されました。この展覧会では工芸指導所の目指したものを、現在の工芸の置かれた状況と重ね合わせながら紹介します。

# 東北歴史博物館 TOHOKU HISTORY MUSEUM

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1  
TEL 022-368-0101(代) FAX 022-368-0103(代)  
Email: thm-service@pref.miyagi.jp

お問い合わせ専用番号

TEL.022-368-0106

東北歴博

検索



## JR線をご利用の方

- 仙台駅から14分、JR東北本線「国府多賀城駅」となり
- JR仙石線「多賀城駅」下車 徒歩25分またはタクシー約10分

## お車をご利用の方

- 三陸自動車道「多賀城IC」から車で約5分
- 国道4号線苦竹インターから国道45号線を塩釜方向に8km(約25分)
- 仙台港フェリーターミナルから15分
- 無料駐車場(191台・大型バス10台)

この印刷物は再生紙を使用しています。

